

2025 年 期 第 4 回課題研究テーマ（東京）

53 班～68 班

テーマ	日本基準におけるのれんの会計処理は、「償却」を原則としている一方で、国際財務報告基準（IFRS）では「非償却」とし、定期的な減損テストの実施を求めている。この会計処理の差異は、日本企業がグローバルに M&A（企業の合併・買収）を展開する上で、財務情報の国際的な比較可能性や、企業価値評価に影響を与えとの指摘がなされている。 この点について、以下の論点を踏まえて論じなさい。 ① 日本基準と IFRS で、のれんの会計処理が異なる背景にある理論を簡潔に述べなさい。 ② 日本におけるのれんの会計処理を、IFRS に倣い非償却へ移行することのメリット・デメリットについて、あなたの考えを述べなさい。 ③ を踏まえたうえで、日本基準が今後取るべきのれんの会計処理の方向性について、あなたの意見を述べなさい。また、その処理方法を適用する上で、監査人として留意すべき事項について言及しなさい。
-----	---